

# 〇君の新秋

芥川龍之介

青空文庫



僕は膝ひざを抱かかへながら、洋画家のO君と話してゐた。赤シヤツを着たO君は畳たたみの上に腹這はらばひになり、のべつにバツトをふかしてゐた。その又O君の傍かたはらには妙にもものしい義足が一つ、白足袋たびの足を仰向あふむかせてゐた。

「まだ残暑と云ふ感じだね。」

O君は返事をする前にちよつと眉まゆをひそめるやうにし、縁先えんさきの紫苑しをんへ目をやつた。何かの紫苑はいつの間まにか細こまい花を簾むらがせたまま、そよりともせずじ日に受けてゐた。

「おや、こいつはもう咲いてゐらあ。この………何なんと云つたつけ、団扇うちはの画の中うちにゐる花の野郎やろうは。」

×

海の音の聞えない、空気の澄んだ日の暮だつた。僕はやはりO君と一しよに広い砂の道を散歩してゐた。すると向うからお嬢ひとりさんが一人、生け垣がきに沿うて歩いて来た。白地の緋かすりに赤い帯をしめた、可也背かなりせいの高いお嬢さんだつた。

「あ、あのお嬢さんは気の毒だなあ。長い脚を持って扱つてゐる。」  
実際その又お嬢さんの態度はO君の言葉にそっくりだった。

×

O君は杖を小脇こわきにしたまま、或大きい別荘の裏のコンクリートの塀に立ち小便をしてゐた。そこへ近眼鏡きんがんきやうか何かかけた巡査じゆんさが一人通りかかった。巡査は勿論咎とがめたかつたと見え、白扇はくせんでO君を指さすやうにした。

「これです。これです。」

O君は多少吃どもりながら、杖で二三度右の脚を打った。右の脚は義足だったから、かんかん云つたのに違ひなかつた。

「僕の家うちはそこなんですが、……」

巡査はにやにや笑つたぎり、何も言はずに通とりすぎてしまった。

×

家々の屋根や松の梢こすゑに西日の残つてゐる夕がただだった。僕はキヤンデイイ・ストアアの前に偶然〇君と顔を合せた。〇君は久しぶりに和服に着換へ、松葉杖をつけて来たのだつた。

「けふは松葉杖だね。」

〇君は白い歯を見せて笑つた。

「ああ、けふはオオル（權）にしたよ。」

×

僕は〇君の家うちへ遊びに行き、四畳半の電燈の下にいろいろのことを話し合つた。が、大抵いていは神経とかテレパシイとかの話だった。Uと云ふ僕の友だちの一人ひとりはコツプに水を入れて枕もとへ置き、暫しばらくたつてそのコツプを見ると、いつか水が半分になつてゐる、或晩などはうとうとしてゐると、いきなり顔へ水がかかった。しかし驚いて飛び起きて見ると、コツプだけは倒れずにちやんとしてゐる、——そんな話も出たものだった。

それから僕等は散歩かたがた、町まで買ひものに出かけることにした。するとO君はいつにも似合はず、肘掛け窓の戸などをしめはじめた。のみならず僕にかう言つて笑つた。「この窓に明りがさしてゐるとね、どうもそこから歸つて来た時に誰か一人ここに坐つて、湯でものんでゐるさうな気がするからね。」

O君は勿論この家に自炊生活をしてゐるのである。

×

O君はけふも不相変赤シャツに黒いチヨツキを着たまま、午前十一時の裏庇の下に七輪の火を起してゐた。焚きつけは枯れ松葉や松蓋だつた。僕は裏木戸へ顔を出しながら、「どうだね？ 飯は炊けるかね？」と言つた。が、O君はふり返ると、僕の間には答へずにあたりの松の木へ顔をやつた。

「かうやつて飯を炊いてゐるとね、松は皆焚きつけの木——だよ。」

×

パナマ帽をかぶつたO君は小高い砂丘に腰をおろし、せつせとブラツシユを動かしてゐた。柱だけの白いバンガロオが一軒、若い松の群立つた中にひっそりと鎧戸を下してゐる。——それを写生してゐるのだつた。松は僕等の居まはりにも二三尺の高さに伸びたまま、さすがに秋らしい風の中に青い松かさを実のらせてゐた。

「松ぼつくりと云ふものはこんな松にもなるものなんだね。」

O君はブラツシユを動かしながら、僕の方へ向かずに返事をした。

「女の子が妊娠したと云ふ感じだなあ。」

×

O君は本職の仕事の間にせつせと発句を作つてゐる。ちよつとO君を写生した次手にそれ等の発句もつけ加へるとすれば——

らん竹に鋏入れたる曇り哉

夜具綿は糸瓜の棚に干しもせよ

わくら葉は蝶てふとなりけり糸すすき  
うすら日を糸瓜へちまかはむけ井戸端に  
ひときはにあをきは草の松林  
大つぶもまじへて栗のはしり哉かな  
鳳仙花種ほうせんくわたねをわりてぞもずのこゑ

(十五・十・十一  
鶺鴒沼くげぬま)



# 青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# ○君の新秋

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>